

機関番号：32670  
 研究種目：基盤研究（B）  
 研究期間：2008～2010  
 課題番号：20320009  
 研究課題名（和文） 新出土資料を通してみた古代東アジア世界の諸相－漢字文化圏の中の地域性－  
 研究課題名（英文） Aspects of the ancient East Asian world in terms of recently excavated materials: Regionality in the Chinese-character cultural area  
 研究代表者  
 谷中 信一（YANAKA SHINICHI）  
 日本女子大学・文学部・教授  
 研究者番号：20230253

## 研究成果の概要（和文）：

中国先秦時代楚地における思想文化の実態を究明するとともに、さらに「出土資料を通してみた古代東アジア世界の諸相」「戦国秦漢出土文字資料と地域性－漢字文化圏の時空と構造－」「東アジア出土資料に関する今日的課題」といった具体的諸問題について探求し、そこに中国大陸・朝鮮半島・日本列島それぞれが漢字文化圏の中において独自の伝統を持つ一方、文化の共有を同時に果たしていったことを明らかにした。

## 研究成果の概要（英文）：

We investigated not only about Chu region's culture of Chinese pre-Qin Dynasty, but also searched about "Some aspects of the ancient east Asian world by new excavated materials," "On Excavated character materials and its Regionality of the Warring States period and Qin-Han Dynasty -- Chinese character cultural area's time-space and its structure --" and "Contemporary problems concerning the East Asian excavated materials". As a result, we clarified that in the Chinese character cultural area a Chinese continent, a Korean peninsula, and Japanese Islands had been accomplished sharing the culture and that three areas had an each original tradition.

## 交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	7,000,000	2,100,000	9,100,000
2009年度	4,700,000	1,410,000	6,110,000
2010年度	5,500,000	1,650,000	7,150,000
年度			
年度			
総計	17,200,000	5,160,000	22,360,000

## 研究分野：中国哲学

科研費の分科・細目：中国哲学・思想

キーワード：①東アジア ②出土資料 ③古代 ④漢字文化圏 ⑤中国 ⑥地域文化

## 1. 研究開始当初の背景

21世紀を迎え、世界の中心がヨーロッパからアジア、わけても東アジアに移りつつある。こうした中であって、東アジア共同体の構築の可能性が政界や経済界は無論のこと、学界においても語られるようになった。この東ア

ジアは、既に古代においてひとつの文化圏、即ち漢字文化圏を形成していたのだが、それがどのような特質を持つものであったかを学術的な観点から明らかにすることによって、現在のわが国が直面する課題に答えることが求められていた。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は、古代東アジア世界の諸相、換言すれば、いわゆる漢字文化圏における地域性の実態を、新出土資料を通して、主として思想・言語・文字・宗教・制度の側面から具体的かつ詳細に明らかにすることにある。これにより、わが国を含む東アジア世界が、中国を中心として経験してきた文化や思想・宗教・言語・文字・制度を“世界化”し、“普遍化”していく過程で現れた様々な現象を検証するとともに、その意義を究明し、次いでグローバル化が進行する現代世界の中で、東アジアが果たしうる役割を探求し、ひいては地球全体が進むべき未来を見通す指針を獲得することを目的とする。

## 3. 研究の方法

- (1) いわゆるマルチディシプリナリな方法、すなわち哲学・歴史学・考古学・言語学・文学・文字学などを専門とする研究者を糾合すること。
- (2) 定例の研究会を開催し、日常的に研究交流を行い、その成果を本研究グループが編輯する雑誌に順次刊行すること。
- (3) 国外の研究者を招聘し、積極的な学術交流を行うこと。
- (4) 公開のシンポジウムを開催し研究成果を世に問うこと。
- (5) 論文集を刊行し研究成果を永く世に遺すこと。
- (6) 上記の目的を効率よく遂行するために既存の学会・研究会と連携を密にすること。

## 4. 研究成果

- (1) 開催した公開定例研究会（上海博楚簡研究会と共催）は総計14回：主に、『上海博物館蔵戦国楚竹書』の訳注を作成。
- (2) 開催した公開学術報告会は総計4回：国外から、李承律（成均館大学）・王中江（北京大学）・曹峰（清華大学）・劉釗（復旦大学）・施謝捷（復旦大学）の各氏を招いて実施。
- (3) 開催した公開シンポジウム総計3回：
  - ① 「新出土資料を通して見た東アジア世界の諸相」（2009.2.21）：国外から佐藤将之（台湾代学）・郭静云（中正大学）の2氏を招いて実施。
  - ② 「戦国秦漢出土文字資料と地域性—漢字文化圏の時空と構造—」（2009.9.19）：国外から西山尚志（山東大学）・季旭昇（玄奘大學）・沈寶春（成功大學）・許學仁（東華大學）・林清源（中興大學）・袁国華（中央研究院）の各氏、国内からは横田恭三（跡見学園）・福田哲之（島根大学）の2氏を招いて実施。
  - ③ 「東アジア出土資料に関する今日的課題」（2011.1.22）：国外から金慶浩（成均館大学）・尹龍九（仁川市文化財担当部長）・李承律・張昌平（武漢大学）の4氏、国内からは

丹羽貴史（奈良文化財研究所）氏を招いて実施。

- (4) 刊行した論文集は計3冊：  
『出土文献と秦楚文化』第4号  
『出土文献と秦楚文化』第5号  
『出土資料と漢字文化圏』

## 5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計6件）

- ① 池澤優 ‘Observing Chinese Excavated Materials from a Perspective of Life and Death Studies: “Image Reversal of the Dead” during the Zhanguo, Qin, and Han periods,’ *Bulletin of Death and Life Studies* vol.7, Graduate School of Humanities and Sociology, The University of Tokyo, 2011. pp9-35.
- ② 谷中信一 「戦国楚簡を通して見た先秦道家—上博簡（七）『凡物流形』を中心に—」（中国社会科学院歴史研究所・日本東方学会・大東文化大学編『第一屆中日学者中国古代史論壇文集』2010.04 pp71-97）
- ③ 大西克也 「放馬灘秦簡用字的幾個特點」（『第二十一屆中國文字學國際學術研討會論文集』2010.04 pp. 375-392、東吳大學）
- ④ 大西克也 「戦国楚簡文字中詠作舌根音的幾個章組字」（『古文字研究』第27輯 2009.09 pp. 513-518、中華書局）
- ⑤ 池澤優 「後漢時代の鎮墓文と道教の上章文の文書構成——『中国道教考古』の検討を中心に」、渡邊義浩編『兩漢儒教の新研究』（汲古書院、2008.12.25 pp342~427）
- ⑥ 池澤優 「中国における“死者性”の諸相と変遷——古代・中世の出土資料を中心に」（熊野純彦・下田正弘編『シリーズ死生学』第2巻、東京大学出版会、2008.12.19 pp199~224）

〔学会発表〕（計7件）

- ① 谷中信一 「從出土文獻看“道”概念的完善」（“老子：文献与思想”國際學術討論會 北京大学 2010.09.07）
- ② 谷中信一 「楚地出土文獻所見“執一”思想—以上博簡（七）《凡物流形》爲中心—」（2010 經典教学與簡帛學術研討會 台灣・嘉南藥理科技大學 2010.05.07）
- ③ 谷中信一 「通過戦国楚簡看先秦道家」（中国社会科学院・東方学会・大東文化大学共催「首屆中日学者中国古代史研究論壇」2009.08.11-13 於北京）
- ④ 谷中信一 「先秦時代齊楚文化の交流——上博楚簡『鮑叔牙與隰朋之諫』と『競建

- 内之』をめぐって」(韓国・成均館大学シンポジウム「資料額の可能性—出土資料研究の現況と課題」2008.8-28-29)
- ⑤ 招待講演：名和敏光「馬王堆喪服圖與日本江戸時代日用類書中的喪服圖」(復旦大學・出土文献与古文字研究中心 2009.3.19.)
- ⑥ 招待講演：谷中信一「簡帛所見齊楚文化之交流」(復旦大學・文物与博物館学系主催講演会 2008.8.7)
- ⑦ 招待講演：谷中信一「我が国における出土資料研究の現状」(復旦大學・出土文献与古文字研究中心主催講演会 2008.8.6)

[図書] (計3件)

- ① 谷中信一編『出土資料と漢字文化圏』(2011.3.31 刊、汲古書院、ISBN 978-4-7629-2893-2、396頁)  
口絵  
序文(谷中信一)  
1, 大西克也「上博楚簡『平王問鄭壽』の歴史的背景について」  
2, 小寺敦「上海博楚簡『鄭子家喪』の史料性格—小倉芳彦の學説と関連づけて—」  
3, 今田裕志「上海博楚簡『君子爲禮』の構成について」  
4, 李承律「出土資料の思想編年をめぐる諸問題—上博楚簡『凡物流形』を中心にして—」  
5, 福田哲之「『凡物流形』甲乙本の系譜關係—楚地におけるテキスト書寫の實態とその背景—」  
6, 谷中信一「楚地出土文獻に見える「執一」の思想—上博楚簡(七)『凡物流形』を中心に—」  
7, 王中江/谷中信一訳「『凡物流形』における「一」の思想構造とその位置」  
8, 名和敏光「天水放馬灘秦簡『日書』乙種「行忌」考」  
9, 池澤優「甘肅省天水放馬灘一號秦墓「志怪故事」註記」  
10, 曹峰「『老子』第一章「名」に関する問題の再検討—北大漢簡『老子』の公開を契機として—」  
11, 八木京子「「難波津」の落書再考—「習書」と「落書(すさび書き)」のあいだ—」  
12, 袁國華「首陽吉金「龍紋盤」(圖)盤銘文真偽探究」  
13, 郭永秉「再談郭店簡《語叢四》8、9號簡與《莊子·胠篋》之關係及相關問題」  
14, 張昌平「戰國晚期楚墓的斷代與郭店 M1 楚墓的年代研究」  
15, 沈寶春「從夫婦合葬、「博」與「至

備」論上博(四)〈昭王毀室〉中「君子」の身份意義

16, 郭静云(Olga Gorodetskaya)「從《總物流形》第一章釋詁論戰國末期道教祭辭的萌芽」

17, 呂靜・何立民「東漢晚期民事訴訟與調解制度之考察—以“光和六年自相和從書、爲例—」

あとがき

- ② 出土資料と漢字文化研究會編『出土文献と秦楚文化』第5号(2010.3.31刊、ISSN 1349-2217、284頁)

序言(池澤優)

シンポジウム「戰國秦簡出土文字資料と地域性—漢字文化圏の時空と構造—」

報告:

1, 季旭昇「説刊」

コメント:横田恭三

2, 大西克也「『史書』とは何か—英藏敦厚漢簡及び秦簡楚地出土資料を中心として—」

コメント:許學仁

3, 林清源「上博簡《武王踐阼》「幾」・「敷」二字考辨」

コメント:小寺敦

4, 沈寶春「試論上博七《吳命》簡的抄手與底本的時代地域特徵」

コメント:福田哲之

5, 西山尚志「『子思子』と『禮記』四篇の關係—楚簡本『緇衣』を出発点として—」

コメント:袁國華

論文

平勢隆郎「上博楚簡『天子建州』と「封建」論」

調査報告

谷中信一・曹峰共著「清華大學出土文献研究與保護中心訪問記」

西山尚志「中國文化遺產研究院座談會參加記」

訳注

戸内俊介「上海博楚簡『姑成家父』譯注」

海老根量介「上海博楚簡『弟子問』譯注」

谷中信一「上海博楚簡『凡物流形(甲本)』譯注」

あとがき(名和敏光)

- ③ 出土資料と漢字文化研究會編『出土文献と秦楚文化』第4号(2009.3.31刊、ISSN 1349-2217、272頁)

序文(谷中信一)

論文

谷中信一「先秦時代齊・楚文化の交流—上博簡(五)『鮑叔牙與隰朋之諫』を通して—」

研究報告

谷中信一「銀雀山漢簡研究の現状と課題」

小寺敦「張家山漢簡『二年律令』研究-家族研究を中心に-」)

#### 調査報告

曹峰「上海博物館訪問記」

小寺敦「湖南大学嶽麓書院秦簡を拝見して」

谷中信一「湖南省長沙簡牘博物館訪問記」

名和敏光「湖南省博物館訪問記」

#### 訳注

1, 谷中信一「上海博楚簡『競建内之』譯注」

2, 谷中信一「上海博楚簡『鮑叔牙與隰朋之諫』譯注」

3, 西山尚志「上海博楚簡『鬼神之明』譯注」 4, 野原将輝「上海博楚簡『競公瘡』譯注」)

#### 文献目録

名和敏光「馬王堆漢墓帛書関係文献目録」

谷中信一「銀雀山漢簡論文目録稿」

小寺敦「家族研究関係の張家山漢簡『二年律令』文献目録」

あとがき (小寺敦)

研究者番号：30345243

(3)連携研究者  
なし

[その他]

ホームページ等

<http://mcm-www.jwu.ac.jp/~skproject/>

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

谷中 信一 (YANAKA SHINICHI)

日本女子大学・文学部・教授

研究者番号：20230253

### (2) 研究分担者

池澤 優 (IKEZAWA MASARU)

東京大学・人文社会系研究科・教授

研究者番号：90250993

大西 克也 (OHNISHI KATSUYA)

東京大学・人文社会系研究科・准教授

研究者番号：10272452

名和 敏光 (NAWA TOSHIMITSU)

山梨県立大学・国際政策学部・准教授

研究者番号：30291868

小寺 敦 (KOTERA ATSUSHI)

東京大学・東洋文化研究所・准教授

研究者番号：30431828

宮本 徹 (MIYAMOTO TOHRU)

放送大学・教養学部・准教授